

町内遺跡発掘調査報告書 IV

平成28年 3 月

紫波町教育委員会

例 言

1 本書は、平成25～27年度実施した大日堂遺跡第1次調査・赤沢庵寺遺跡第1次調査及び町内遺跡の埋蔵文化財有無確認調査（試掘調査）に関する報告書である。

2 調査概要

・大日堂遺跡第1次調査

調査事由 個人住宅新築工事に伴う緊急発掘調査

調査期間 平成26年7月14日～平成26年7月18日 調査面積 54.9㎡

・赤沢庵寺遺跡第1次調査

調査事由 土留め及び側溝整備工事に伴う緊急発掘調査

調査期間 平成26年8月25日～平成26年8月29日 調査面積 33.2㎡

・町内遺跡の埋蔵文化財有無確認調査（平成25～27年度試掘調査）

文化財保護法第93条・・17箇所 文化財保護法第94条・・4箇所

- 3 調査主体 紫波町教育委員会 教育長 佐美 淳
調査組織 紫波町教育委員会事務局 教育部長 小田中 健（～平成26年度）
森川 一成（平成27年度～）
生涯学習課 課長 高橋 正（～平成26年度）
石川 和広（平成27年度～）
室長 谷地 和也
主事 岩館 岳
主事 上方 雄理（平成26年度～）
文化財専門調査員 鈴木 賢治

※調査担当及び本書の執筆・編集は、鈴木賢治が行った。

4 遺構の平面実測図および、座標測量は軌プラス測量設計に委託した。

5 土層図は、堆積の仕方を重視し線の太さを使い分けた。土層層相の色相観察は、「新版標準土色帖」（小山・竹原著（1998））を使用した。

6 本書に記載した地形図は、国土地理院発行の5万分の1日誌を使用した。

7 各遺構名と遺構記号は次の通り。

掘立柱建物跡—SB 溝跡—SD 柱穴—P

- 8 座標数値 大日堂遺跡第1次調査 基-1 X=-51113.405 Y=28870.738
基-2 X=-51230.173 Y=28932.483
赤沢庵寺跡第1次調査 基-1 X=-49582.990 Y=34488.937
基-2 X=-49598.415 Y=34479.555

9 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、紫波町教育委員会において保管している。

10 現場作業員及び室内整理作業員は、次の方々に参加・協力して頂いた。（五十音順・敬称略）

稲垣 淳子 小澤 功子 川原 佳奈子 熊谷 正男 高橋 洗介 橘 孝子
藤原 求 松岡 好一 八重樫 ひとみ

目 次

例 言
目 次
本 目 次
挿図目次

表 目 次
写真目次
抄 録

本 目 次

I 大日堂遺跡第1次調査	1	II 赤沢廃寺遺跡第1次調査	10
1 遺跡の環境	1	1 遺跡の環境	10
(1) 位置	1	(1) 位置	10
(2) 地形と地質	1	(2) 地形と地質	10
(3) 周辺の遺跡	2	(3) 周辺の遺跡	11
2 調査の概要	3	2 調査の概要	12
(1) 調査に至る経過	3	(1) 調査に至る経過	12
(2) 第1次調査の概要	3	(2) 第1次調査の概要	12
3 調査の成果	4	3 調査の成果	13
(1) 検出遺構	4	(1) 検出遺構	13
(2) 出土遺物	7	(2) 出土遺物	14
4 総括	9	4 総括	15
III 町内遺跡の埋蔵文化財有無確認調査(平成25~27年度試掘調査)	16		
文化財保護法第93条 試掘調査位置図・平面実測図①~⑨	17~25		
文化財保護法第94条 試掘調査位置図・平面実測図①~②	26~27		

挿 図 目 次

・大日堂遺跡第1次調査	
第1図 大日堂遺跡 位置図(1:50,000)	1
第2図 大日堂遺跡 周辺の主な遺跡位置図(1:10,000)	2
第3図 大日堂遺跡第1次調査 遺構配置図(1:100)	3
第4図 SB-01掘立柱建物跡 平面図・断面図(1:60)	4
第5図 SD-01溝跡 平面図・断面図(1:80、1:50)	6
第6図 P-01~P-14 柱穴 断面図(1:50)	7
第7図 出土遺物(1:3)	8

・赤沢廃寺遺跡第1次調査	
第1図	赤沢廃寺遺跡 位置図 (1:50,000) 10
第2図	赤沢廃寺遺跡 周辺の主な遺跡位置図 (1:50,000) 11
第3図	赤沢廃寺遺跡第1次調査 遺構配置図 (1:150) 12
第4図	SD-01溝跡 平面図・断面図 (1:100, 1:80) 13
第5図	出土遺物 (1:3) 14
・遺跡の有無確認 (平成25~27年度試掘調査)	
第1図	試掘調査 遺跡配置図 (1:60,000) 16

表 目 次

・大日堂遺跡第1次調査	
表1	大日堂遺跡 周辺の主な遺跡一覧表 2
表2	SB-01掘立柱建物跡 埋土注記一覧表 5
表3	SD-01溝跡 埋土注記一覧表 6
表4	出土遺物一覧表 7
・赤沢廃寺遺跡第1次調査	
表1	赤沢廃寺遺跡 周辺の主な遺跡一覧表 11
表2	SD-01溝跡 埋土注記一覧表 13
表3	出土遺物一覧表 14

写 真 目 次

第1図版	大日堂遺跡第1次調査 調査区全景
第2図版	大日堂遺跡第1次調査 SP-02、SP-08、SD-01溝跡 断面、出土遺物状況
第3図版	赤沢廃寺遺跡第1次調査 調査区全景
第4図版	赤沢廃寺遺跡第1次調査 SD-01溝跡 断面、作業風景
第5図版	出土遺物
第6図版	文化財保護法第93条 試掘調査状況①
第7図版	文化財保護法第93条 試掘調査状況②
第8図版	文化財保護法第93条 試掘調査状況③
第9図版	文化財保護法第94条 試掘調査状況

I 大日堂遺跡第1次調査

1 遺跡の環境

(1) 位置

本遺跡は、JR東北本線日詰駅から北東に約1km、岩手県紫波郡紫波町北日詰字城内地内の扇状地性段丘東端部にあたる、北上川右岸の残丘状山地及び高位段丘に占地する。遺跡範囲は南北に約200m、東西に約250mと推測される。

(2) 地形と地質

本遺跡の東側約400mには、紫波町の中央を縦断するように北上川が南流する。平地は、西側一帯に奥羽山脈から流れ出て北上川に注ぐ滝名川・大坪川・五内川等の中小河川群によって、広く扇状地や氾濫低地が形成されている。北上川中流域西側の扇状地性段丘は、西根段丘・村崎野段丘・金ヶ崎段丘と大きく三分類されるが、紫波町内に相当するものとして、石鳥谷段丘・二枚橋段丘・都南段丘と命名された段丘群が知られている。



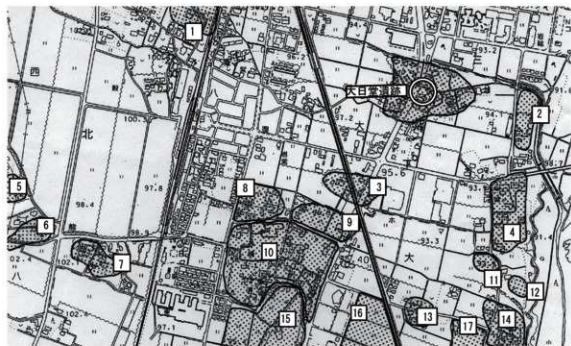
第1図 大日堂遺跡 位置図 (1 : 50,000)

(3) 周辺の遺跡

本遺跡の北西に才土地遺跡、東に北日詰城内Ⅱ遺跡、南西に北日詰東ノ坊Ⅱ遺跡、比爪館遺跡などが所在する。また、紫波町内には、県指定史跡である川原毛瓦窯跡、舟久保洞窟、町指定史跡である陣ヶ岡陣営跡、樋爪館跡、高水寺城跡など貴重な遺跡が多く所在する。

番号	遺跡名	所在地	種別	遺構・遺物
1	北日詰下敷	北日詰字下敷	散布地	土師器
2	北日詰城内Ⅱ	北日詰字城内	集落跡	竪穴住居跡、縄文土器
3	北日詰東ノ坊Ⅱ	北日詰字東ノ坊、字下東ノ坊	散布地	土師器、かわらけ
4	北条館	北日詰字城内	城館跡	土師器
5	北日詰外谷地Ⅳ	北日詰字外谷地	散布地	石器
6	北日詰外谷地Ⅴ	北日詰字外谷地	散布地	土師器、陶器
7	北日詰八卦	北日詰字八卦	散布地	土師器、須恵器
8	北日詰東ノ坊Ⅰ	北日詰字東ノ坊	散布地	土師器、須恵器、かわらけ
9	北日詰東ノ坊Ⅲ	北日詰字東ノ坊	散布地	かわらけ
10	比爪館	南日詰字箱清水	城館跡	建物跡、堀、井戸跡、溝跡 中国産陶磁器、かわらけ
11	北日詰下東ノ坊	北日詰字下東ノ坊、字城内	散布地	土師器、白磁
12	北日詰城内Ⅰ	北日詰字城内	散布地	土師器、須恵器
13	南日詰大銀Ⅰ	南日詰字大銀、字小路口	散布地	土師器、かわらけ
14	南日詰大銀Ⅱ	南日詰字小路口	散布地	土師器、須恵器
15	五郎沼（比爪館）	南日詰字箱清水	散布地	縄文土器、かわらけ
16	南日詰小路口Ⅱ	南日詰字小路口	散布地	土師器、かわらけ
17	南日詰小路口Ⅰ	南日詰字小路口	散布地	土師器、かわらけ

表1 大日堂遺跡 周辺の主な遺跡一覧表



第2図 大日堂遺跡 周辺の主な遺跡位置図（1：10,000）

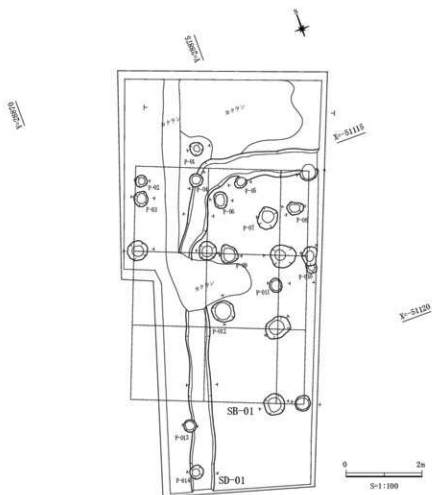
2 調査の概要

(1) 調査に至る経過

個人住宅新築に伴い、その工事区域内に大日堂遺跡が存在することから、発掘調査を実施することとなったものである。建築主から平成26年7月4日付で、文化財保護法第93条第1項による埋蔵文化財発掘届の提出があり、平成26年7月12日付で岩手県教育委員会から工事着手前の試掘調査実施の通知があった。その後、建築主の依頼を受けて、平成26年7月14日に試掘調査を実施した。調査の結果、遺構等が確認されたため、同日付で記録保存（緊急発掘調査）に着手した。

(2) 第1次調査の概要

位 置	国道4号から東に約40m、覚王寺の南東に隣接する、南北11.3m・東西5.5mの範囲を調査した。検出面は黄褐色土シルト層上面にて実施した。
検出遺構	SB-01掘立柱建物跡1棟、SD-01溝跡1条、P-01～P-14柱穴14口である。
出土遺物	陶器、鎌、土瓶、ガラス瓶、その他。



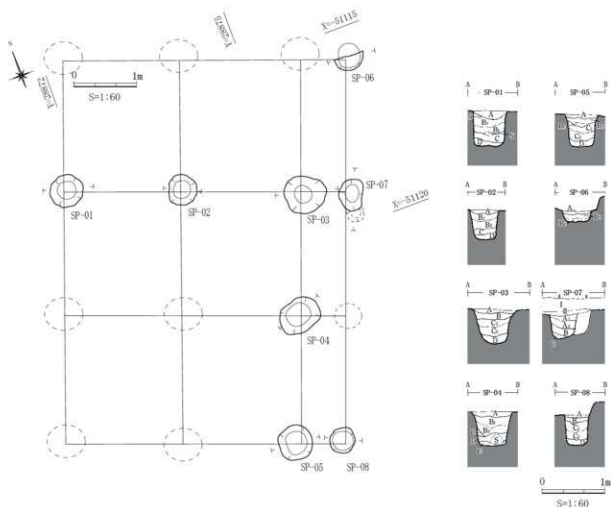
第3図 大日堂遺跡第1次調査 遺構配置図 (1:100)

3 調査の成果

(1) 検出遺構

SB-01 掘立柱建物跡 (第4図)

位置	調査区中央
平面形	一面庇建物 母屋桁行3間・梁間2間、庇桁行3間・1間 (長方形)
重複関係	SD-01溝跡に切られる
規模	母屋南北3間 (6.1m・20尺3寸)、東西2間 (3.8m・12尺6寸)
棟方向	N18° W
柱間寸法	SP-01・SP-02間1.86m (6尺2寸)、SP-02・SP-03間1.95m (6尺5寸)、SP-03・SP-07間0.69m (2尺3寸)、SP-03・SP-04間1.98m (6尺6寸)、SP-04・SP-05間2.1m (7尺)、SP-05・SP-08間0.69m (2尺3寸)、SP-06・SP-07間2.1m (7尺)、SP-07・SP-08間4m (13尺3寸)
柱穴	各柱穴の深さは次の通りである。SP-01 : 0.56m、SP-02 : 0.47m、SP-03 : 0.57m、SP-04 : 0.55m、SP-05 : 0.52m、SP-06 : 0.17m、SP-07 : 0.35m、SP-08 : 0.49m
出土遺物	なし



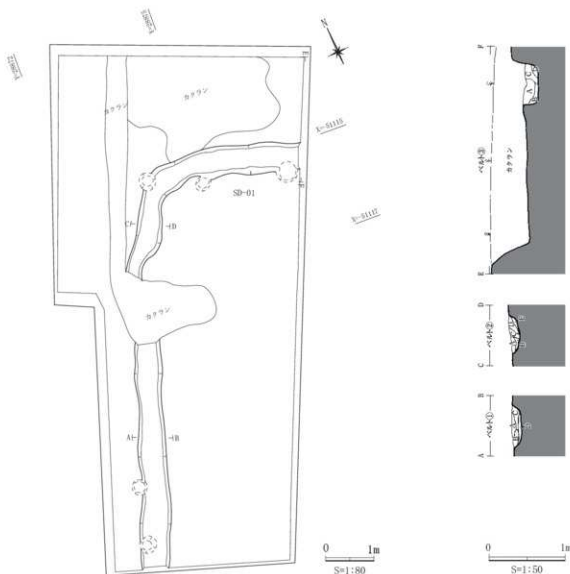
第4図 SB-01掘立柱建物跡 平面図・断面図 (1 : 60)

SP-01	
A 層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
B1層	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。石を含む。
B2層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。石を含む。
C 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D 層	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは弱。砂質。
SP-02	
A 層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボンを含む。
B1層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B2層	黒褐色土を主体に、褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C 層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D 層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは弱。砂質。
SP-03	
A 層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C1層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C2層	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D 層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粉状～粒状に締まりは弱。砂質。
SP-04	
A 層	黒褐色土を主体に、褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。カーボンを含む。
B1層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B2層	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D 層	にぶい明黄褐色土を主体に、褐色土を粒状～塊状に締まりは中。石を含む。
E 層	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは弱。砂質。
SP-05	
A 層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
B1層	暗褐色土を主体に、褐色土をに粉状～粒状締まりは中。
B2層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C1層	褐色土を主体に、暗褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C2層	褐色土を主体に、黒褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは弱。砂質。
SP-06	
A 層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B1層	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B2層	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
SP-07	
A1層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは弱。
A2層	暗褐色土を主体に、褐色土を粒状～塊状に締まりは弱。
B 層	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。
C 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
SP-08	
A 層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。カーボンを含む。
B 層	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C1層	暗褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C2層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは弱。
D 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粉状～粒状に締まりは弱。砂質。

表2 SB-01掘立柱建物跡 埋土注記一覧表

SD-01 溝跡 (第5図)

位 置	調査区中央	平 面 形	U字状
重複関係	P-04、P-13、P-14、カクランに切られる SB-01、P-05を切る		
掘込面	削平	検出面	黄褐色シルト層
規 模	上端0.52m～0.57m、下端0.37m～0.42m、深さ0.13m～0.24mをはかる		
埋 土	人為堆積 A層～E層に大別する		
出土遺物	なし		



第5図 SD-01溝跡 平面図・断面図 (1:80、1:50)

ベルト①

A 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B 層	明黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは強。粘土質含む。
C 層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

ベルト②

A 層	明黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは強。粘土質含む。
B 層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C 層	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D 層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

ベルト③

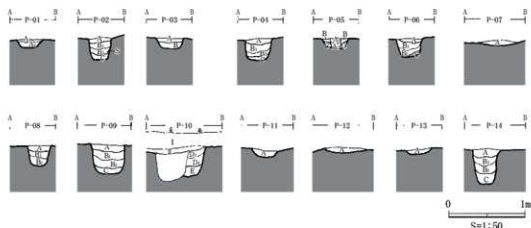
A 層	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B 層	褐色土を主体に、にぶいお黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。粘土質含む。
C 層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D 層	明黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

表3 SD-01溝跡 埋土注記一覧表

P-01～P-14 柱穴 (第3図)

柱穴は14口検出した。また、埋土観察の結果、明確な柱痕跡を残すものは無かった。各柱穴の規模は次の通りである

P-01:0.13m、P-02:0.29m、P-03:0.14m、P-04:0.03m、P-05:0.14m、P-06:0.25m、P-07:0.08m、P-08:0.28m、P-09:0.38m、P-10:0.41m、P-11:0.09m、P-12:0.07m、P-13:0.08m、P-14:0.48mをはかる。



第6図 P-01～P-14 柱穴 断面図 (1:50)

(2) 出土遺物

今回の調査では、カクランから近世(18世紀頃)の陶器18点、近代(19世紀～20世紀頃)の陶器465点、その他が出土した。その中から、近世の陶器で実測可能な遺物5点を図化し掲載した。

1) 陶器 (第7図)

調査区北端(カクラン)から5点。1～4は肥前産陶器染付皿と碗である。5は大堀相馬産碗である。1は染付皿で、口径13.8cmをはかる。内側に見込蛇ノ目軸ハギ、中心部にコンニャク印五弁花が描かれ、高台に砂が少量付着する。2は染付皿で、高台径5.1cmをはかる。高台内銘不明。3は染付皿で、高台径13.8cmをはかり、焼継ぎが施されていた。4は染付碗で口径10.6cmをはかる。5は碗で高台径4.0cmをはかり褐釉を施す。いずれも近世(18世紀頃)と思われる。

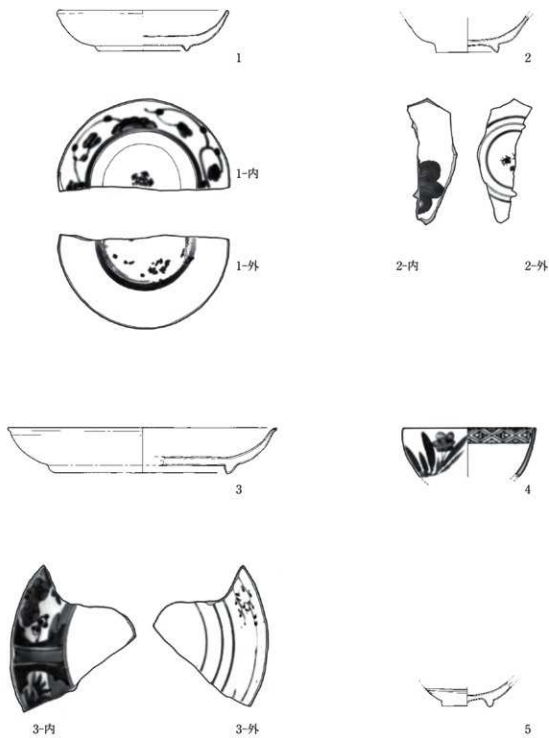
陶器①

番号	出土位置	機種名	産地	口径	高台径	器高	残存率	備考
				(cm)	(cm)	(cm)		
1	カクラン	皿	肥前産	13.8	7.1	3.0	50	コンニャク印五弁花。高台に砂が少量付着。18c。
2	カクラン	皿	肥前産	—	5.1	2.8以上	15	高台内銘不明。染付。18c。
3	カクラン	皿	肥前産	—	13.8	3.6	20	焼継ぎ(欠損部修復痕)有り。染付。18c。
4	カクラン	碗	肥前産	10.6	—	4.0以上	15	染付。18c。

陶器②

番号	出土位置	機種名	産地	口径	高台径	器高	残存率	備考
				(cm)	(cm)	(cm)		
5	カクラン	碗	大堀相馬産	—	4.0	1.4以上	10	褐釉。18c。

表4 出土遺物一覧表



第7图 出土遺物 (1 : 3)

4 総 括

大日堂遺跡第1次調査では、掘立柱建物跡1棟・溝跡1条・柱穴14口を検出した。遺物は調査区北端（カクラン）から、多くの陶器、ガラス瓶、鎌、土瓶、その他（近世～近代）などが出土（556点）した。

・SB-01掘立柱建物跡について

SB-01は調査区中央から検出されたが、上層は後世に削平されている。規模は調査区が狭いため、全貌は明らかにできなかったが、少なくとも、母屋桁行3間・梁間2間、庇桁行3間・1間（長方形）で、中型の一面庇建物跡であると考えられる。遺構内から遺物は発見されなかったため、建てられた時期は不明である。

・SD-01溝跡について

SD-01は調査区中央から検出した。溝跡は東側調査区から西側に3.4m伸び、ほぼ直角に屈曲しながら南側調査区に抜ける。検出面は後世に削平されている。使用目的は断定しかねるが、排水用の溝跡と推測される。また、構築時期は不明だが、SB-01の柱穴を切ることからSB-01より新しいことが窺える。

・遺物について

調査区北側（カクラン）から一括して陶器類が出土した。大半が近代（19世紀～20世紀頃）の陶器皿・碗・鉢・徳利・土瓶、ガラス瓶、その他であったが、中には古いものが数点混在しており、近世（18世紀頃）に作られた肥前産陶器（染付皿、碗）、大堀相馬産陶器（碗）等が出土した。また、肥前産染付皿には、焼継ぎ（修復痕）が見られた。

・まとめ

今回の調査では、掘立柱建物跡1棟が検出されたが、遺構内から遺物が発見されず、建てられた時代を断定することができなかった。しかし、溝跡がカクランに切られることから、それ以前のものと思われる。また、カクランの出土遺物から推測すると、江戸時代後期以前に掘立柱建物が存在していた可能性が高いと考えられる。

本遺跡は、今回が初めての発掘調査であったが、調査範囲が狭く遺跡の性格や内容を把握することはできなかった。今後は、本遺跡及び近隣遺跡の調査成果を集積していくことで、新知見を得ることに期待したい。

II 赤沢廃寺遺跡第1次調査

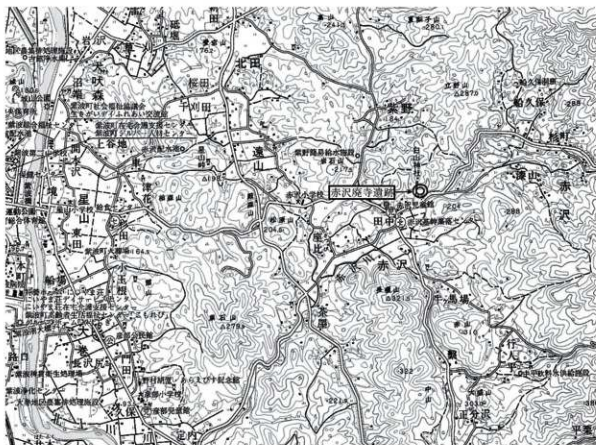
1 遺跡の環境

(1) 位置

本遺跡は、JR東北本線紫波中央駅から東に約6.5km、北上山系の山麓、岩手県紫波郡紫波町赤沢字田中地内に位置する。遺跡範囲は東西約200m、南北約160mと推測される。

(2) 地形と地質

紫波町の東方には石灰質物質が堆積・隆起した高地が浸食されてきた北上山地があり、同町西方には海底火山や圧力による褶曲してきた奥羽山脈がある。紫波町東部の赤沢地区はその多くを山間部が占めており、標高300m前後の山々が連なる。また、烏帽子山から流れ出る赤沢川が西流し、北上川と合流する。平坦地域は赤沢川の両側にあるがごく狭い。本遺跡は、北上山系安山岩・粘板岩等で形成された場所に所在する。



第1図 赤沢廃寺遺跡 位置図 (1 : 50,000)

(3) 周辺の遺跡

本遺跡の北に白山館遺跡、東に荒屋敷遺跡、南に伝蓮華寺跡遺跡、西に加賀館遺跡などが所在する。また、紫波町内には県指定史跡である川原毛瓦窯跡、舟久保洞窟、町指定史跡である陣ヶ岡陣営跡、樋爪館跡、高水寺城跡など貴重な遺跡が存在する。

番号	遺跡名	所在地	種別	遺構・遺物
1	北田	北田字和田	散布地	土師器、須恵器
2	星川館	北田字星川	城館跡	郭、空堀、土塁
3	遠山	北田字和田	散布地	縄文土器、石斧、石鏃、石匙
4	田村館	紫野字芦立	城館跡	空堀
5	舟久保洞窟	船久保字百沢	洞穴	縄文土器、石斧、石鏃、石匙
6	遠山館	遠山字新田	城館跡	空堀、土塁
7	高間館（西野館）	遠山字西野々	城館跡	空堀
8	白山館	赤沢字田中	経塚	空堀、郭、一字一石
9	舟久保館	船久保字十分一	城館跡	空堀、土塁
10	木戸脇（八卦）一里塚	赤沢字木戸脇	一里塚	
11	加賀館	赤沢字駒場	城館跡	空堀、土塁
12	荒屋敷	赤沢字荒屋敷、字向畑	散布地	縄文土器、弥生土器
13	伝蓮華寺跡	赤沢字向畑	寺院跡	石碑
14	的場館	赤沢字的場	城館跡	郭、空堀、土塁
15	赤沢判官堂	赤沢字木戸脇	散布地	縄文土器
16	赤沢館	赤沢字田次	城館跡	郭、空堀、土塁

表1 赤沢廃寺遺跡 周辺の主な遺跡一覧表



第2図 赤沢廃寺遺跡 周辺の主な遺跡位置図（1：50,000）

2 調査の概要

(1) 調査に至る経過

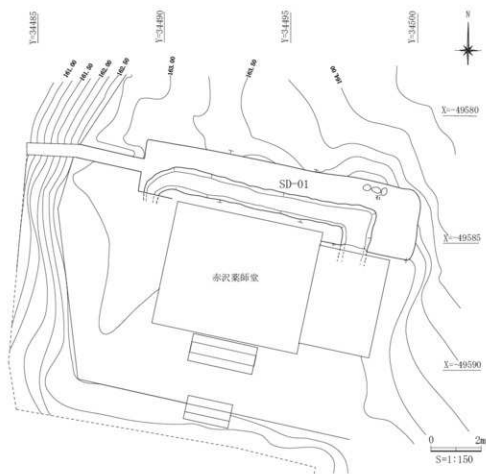
赤沢薬師堂の裏側にL字側溝及び土留めを設置する工事に伴い、その工事区域内に赤沢廃寺遺跡が存在することから、発掘調査を実施することとなったものである。管理者から平成26年8月5日付で、文化財保護法第93条第1項による埋蔵文化財発掘届の提出があり、平成26年8月8日付で岩手県教育委員会から工事着手前の試掘調査実施の通知があった。管理者の依頼を受けて、平成26年8月25日に試掘調査を実施した。調査の結果遺構等が確認されたため、同日付で記録保存（緊急発掘調査）に着手した。

(2) 第1次調査の概要

位 置 赤沢薬師堂の裏側（北側）。調査範囲は、南北3m・東西11mを調査した。検出面は明黄褐色土シルト層上面にて実施した。

検出遺構 SD-01溝跡1条

出土遺物 焔炉（表土）



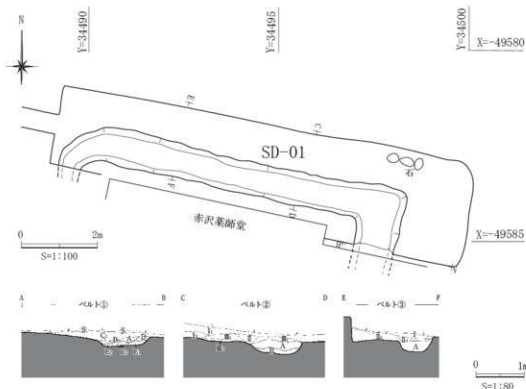
第3図 赤沢廃寺遺跡第1次調査 遺構配置図（1：150）

3 調査の成果

(1) 検出遺構

SD-01 溝跡 (第4図)

位置	調査区中央南側	平面形	U字状	重複関係	なし
掘込面	削平	検出面	明黄褐色シルト層		
規模	上端1.06m～0.82m、下端0.78m～0.52m、深さ0.27m～0.36mをはかる。				
埋土	自然堆積 A層～E層に大別し、C層・E層は2層に細分する。				
出土遺物	なし				



第4図 SD-01溝跡 平面図・断面図 (1:100、1:80)

ベルト①

A 層	黒色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
B 層	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
C 1層	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。少礫含む。
C 2層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。少礫含む。
D 層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E 1層	にぶい橙土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E 2層	にぶい橙土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

ベルト②

A 層	褐色土を主体に、黒褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。
B 層	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

ベルト③

A 層	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは硬。
-----	---------------------------

表2 SD-01溝跡 埋土注記一覧表

(2) 出土遺物

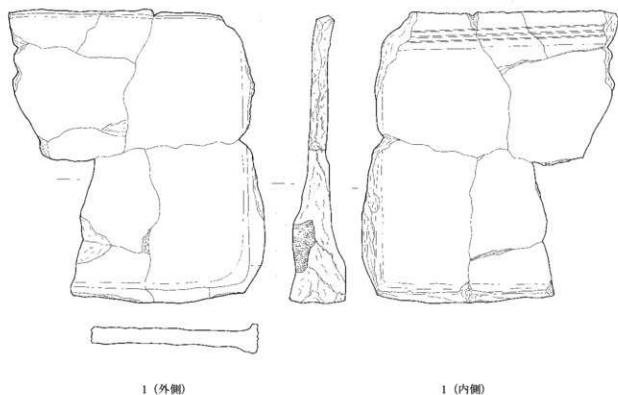
調査区東端の表土から近代（19世紀～20世紀頃）の焔炉片（30点）が出土した。底部部分がいくつか接合ができたので、その1点を実測図化し掲載した。

1) 焔炉（第5図）

調査区東端の表土から出土した。1は焔炉の底部で、長辺23.4cm、短辺18.9cm以上、厚さは1.2cmをはかる。近代に作られたものと思われる。

番号	遺構名	出土位置	機種名	分類	長辺	短辺	厚さ	残存率	備考
					(cm)	(cm)		(cm)	
1	—	表土	焔炉	—	23.4	18.9以上	1.2	8	瓦質で赤褐色。ヘラミガキ。19c～20c頃。

表3 出土遺物一覧表



第5図 出土遺物（1：3）

4 総 括

赤沢庵寺遺跡第1次調査では、溝跡1条を検出した。遺物は焔炉片が表土から出土している。

・SD-01溝跡について

SD-01は調査区中央から検出した。赤沢薬師堂の張り出した軒の真下に構築されている。今回は薬師堂北側のみを調査したため、全容は明らかではないが、赤沢薬師堂を囲う様に東側、西側が共に屈曲することを確認している。以上のことから、赤沢薬師堂を雨水等から守るために構築された排水用の溝跡と考えられる。

・出土遺物

調査区表土から近代の焔炉片（30点）が出土している。瓦質で赤褐色をし、ヘラミガキが施されている。また、粘土接合面には、強固に密着させるための櫛目が深く施されていた。小型であることから携帯用として作られたものと思われる。

・まとめ

今回の調査では、溝跡1条を検出した。構築された時期は遺構内から遺物が発見されなかったため不明であるが、遺構上層（表土）から近代（19世紀～20世紀）に作られた焔炉片が出土している。このことから江戸時代後期以前に溝が構築され、赤沢薬師堂もすでに鎮座していたと推測される。また、紫波町史に「神仏分離の令により、赤沢村の薬師堂は廃止となる。その後、明治28年（1895）になると、この薬師堂は赤沢・舟久保・紫野の信徒たちにより再興され、仏像も元に復するようになった。」と記されていることから、現在する赤沢薬師堂は、その時期に再構築された可能性があり、その後、幾たびか改修されたと考えられる。

今回の調査区外ではあるが、本調査区（赤沢薬師堂裏側）の北側一段高所に、山の斜面を一部造成した、やや平坦面を有する地形が存在する。この場所にも何らかの施設（寺院、御堂他）があった可能性が考えられる。

本遺跡の北側上方に中世に創建されていたと推測される白山神社、北西上方に藤原経清の母の墓（板碑群）、南東側下方に伝蓮華寺跡遺跡等が所在するが、これらの関連性は今後の課題である。

<引用・参考文献>

- 1979 岩手県教育委員会 「東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書 Ⅲ」
- 1997 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
「泉屋遺跡第10・11・13・15次発掘調査報告書 一関遊水地事業関連遺跡発掘調査」
- 2007 平泉町教育委員会
「倉町遺跡第7・8・9・10次発掘調査報告書
都市計画街路毛越寺線街路整備事業に伴う調査」
- 2010 八戸市教育委員会 「八戸城跡Ⅴ 三八城公園整備に伴う発掘調査報告書2」
- 2013 二戸市教育委員会 「史跡九戸城跡 平成22年度史跡九戸城跡環境整備事業発掘調査略報」
- 2013 盛岡市教育委員会 「里館遺跡 供養塔および駐車場造成に伴う緊急発掘調査報告書」

Ⅲ 町内遺跡の埋蔵文化財有無確認調査（平成25年～27年度試掘調査）

・文化財保護法第93条

日詰石田遺跡①、古館橋遺跡、南日詰梅田遺跡、日詰石田遺跡②、桜町田頭遺跡、桜町上野沢遺跡、南馬場遺跡①、中田Ⅰ遺跡、北日詰外谷地Ⅱ遺跡、日詰下丸森遺跡、平沢松田遺跡、南馬場遺跡②、杉の上Ⅲ遺跡①、杉の上Ⅲ遺跡②、西田遺跡、稲村Ⅱ遺跡、堤下Ⅱ遺跡の17箇所。

・文化財保護法第94条

高水寺城（郡山城）遺跡、比爪館遺跡、後在所遺跡、間木沢遺跡の4箇所。



第1図 試掘調査 遺跡配置図（1：60,000）

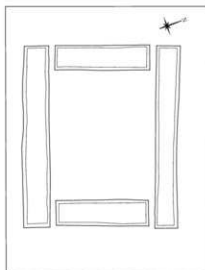
文化財保護法第93条

1) 日詰石田遺跡①

遺跡コード LE67-1114
 所在地 日詰字石田107
 調査原因 陶芸窯小屋建築工事
 調査年月日 平成25年6月27日
 調査面積 22㎡ (トレンチ4本)
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



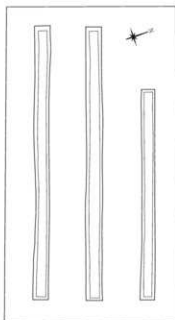
平面実測図 (1:200)

2) 古館橋遺跡

遺跡コード LE56-1357
 所在地 中島字落合57
 調査原因 個人住宅建替え工事
 調査年月日 平成25年10月7日
 調査面積 84.4㎡ (トレンチ3本)
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



平面実測図 (1:500)

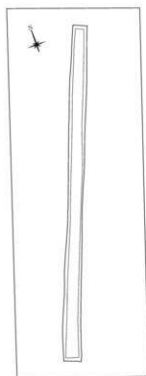
文化財保護法第93条 試掘調査位置図・平面実測図①

3) 南日詰梅田遺跡

遺跡コード LE76-1364
所在地 南日詰字梅田101
調査原因 浄化槽排水管設置工事
調査年月日 平成25年10月22日
調査面積 17.8㎡ (トレンチ1本)
検出遺構 なし
出土遺物 なし



調査位置図



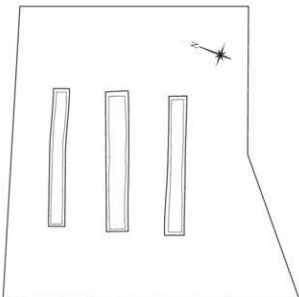
平面実測図 (1:200)

4) 日詰石田遺跡②

遺跡コード LE67-1114
所在地 日詰字石田62
調査原因 個人住宅新築工事
調査年月日 平成25年11月22日
調査面積 19.6㎡ (トレンチ3本)
検出遺構 なし
出土遺物 なし



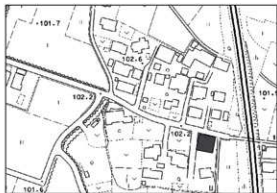
調査位置図



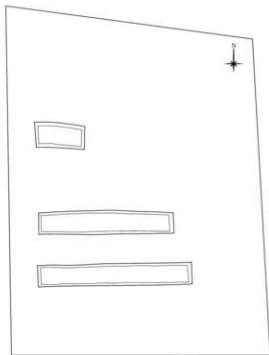
平面実測図 (1:200)

5) 桜町田頭遺跡

遺跡コード LE67-2064
 所在地 桜町字高木5
 調査原因 個人住宅新築工事
 調査年月日 平成25年12月12日
 調査面積 17.7㎡ (トレンチ3本)
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



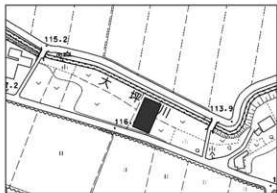
調査位置図



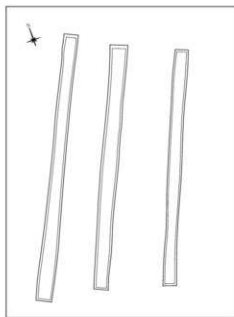
平面実測図 (1:200)

6) 桜町上野沢遺跡

遺跡コード LE66-1370
 所在地 平沢字油田65
 調査原因 個人住宅新築工事
 調査年月日 平成25年12月27日
 調査面積 62.2㎡ (トレンチ3本)
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



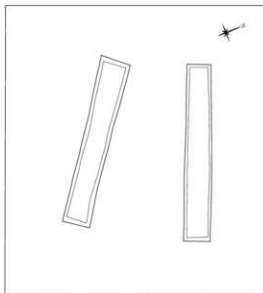
平面実測図 (1:300)

7) 南馬場遺跡①

遺跡コード LE65-1369
 所在地 上平沢字南馬場26
 調査原因 個人住宅新築工事
 調査年月日 平成26年2月7日
 調査面積 27.7㎡ (トレンチ2本)
 検出遺構 なし
 出土遺物 陶器、ビン、その他



調査位置図



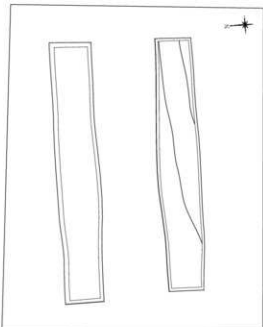
平面実測図 (1:200)

8) 中田I遺跡

遺跡コード LE57-1094
 所在地 中島字前郷74
 調査原因 個人住宅新築工事
 調査年月日 平成26年7月8日
 調査面積 14.5㎡ (トレンチ2本)
 検出遺構 溝跡
 出土遺物 なし



調査位置図



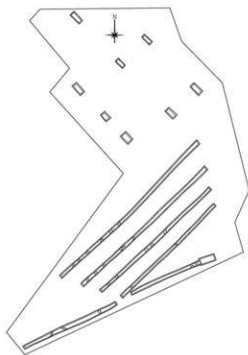
平面実測図 (1:100)

9) 北日詰外谷地Ⅱ遺跡

遺跡コード	LE76-0347
所在地	北日詰字外谷地1026
調査原因	太陽光発電設備の設置及び 変電施設、引込柱の設置
調査年月日	平成26年7月31日～8月1日
調査面積	769.1㎡（トレンチ14本）
検出遺構	溝跡、土坑跡
出土遺物	縄文土器



調査位置図



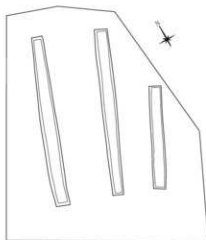
平面実測図（1：1,500）

10) 日詰下丸森遺跡

遺跡コード	LE67-1046
所在地	日詰字丸盛214
調査原因	事務所及び店舗新築工事
調査年月日	平成26年9月22日
調査面積	38.0㎡（トレンチ3本）
検出遺構	なし
出土遺物	なし



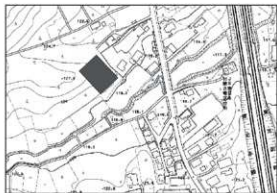
調査位置図



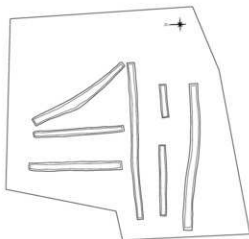
平面実測図（1：300）

13) 杉の上皿遺跡①

遺跡コード LE66-0357
 所在地 二日町字西七久保89
 調査原因 資材置き場建築
 調査年月日 平成27年3月26日
 調査面積 155.1㎡ (トレンチ7本)
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



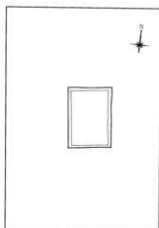
平面実測図 (1:600)

14) 杉の上皿遺跡②

遺跡コード LE66-0357
 所在地 二日町字北七久保24
 調査原因 携帯電話基地局設置工事
 調査年月日 平成27年4月10日
 調査面積 73㎡ (トレンチ1本)
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



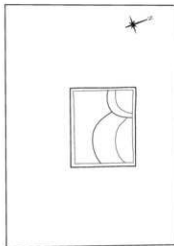
平面実測図 (1:200)

15) 西田遺跡

遺跡コード LE77-2174
 所在地 犬測字西田80
 調査原因 携帯電話基地局設置工事
 調査年月日 平成27年4月10日
 調査面積 14.4㎡ (トレンチ1本)
 検出遺構 井戸跡、土坑跡
 出土遺物 なし



調査位置図



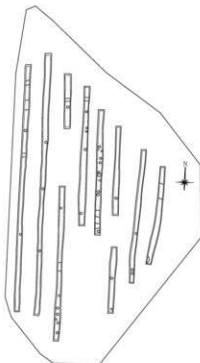
平面実測図 (1:200)

16) 稲村Ⅱ遺跡

遺跡コード LE57-1038
 所在地 高水寺字稲村46
 調査原因 宅地造成
 調査年月日 平成27年10月13日～10月16日
 調査面積 319㎡ (トレンチ10本)
 検出遺構 竪穴住居跡、土坑跡、溝跡、
 井戸跡、その他
 出土遺物 土師器 坏・長胴甕



調査位置図



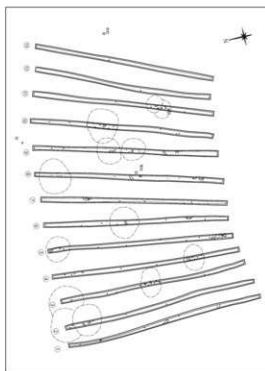
平面実測図 (1:900)

17) 堤下Ⅱ遺跡

遺跡コード LE85-0324
 所在地 片寄字ニッ森24
 調査原因 太陽光発電施設設置工事
 調査年月日 平成27年11月16日～11月19日
 調査面積 5828㎡（トレンチ13本）
 検出遺構 竪穴住居跡、土坑、陥し穴
 出土遺物 縄文土器、石器



調査位置図



平面実測図 (1:900)

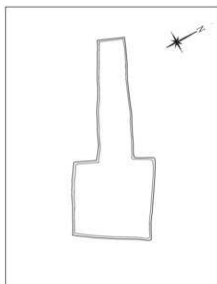
文化財保護法第94条

1) 高水寺城（郡山城）遺跡

遺跡コード LE67-0154
 所在地 二日町字古館地内
 調査原因 安全柵及び電灯設置工事
 調査年月日 平成25年4月11日～4月12日
 調査面積 16.5㎡（トレンチ2ヶ所）
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



平面実測図（1：150）

2) 比爪館遺跡

遺跡コード LE77-0087
 所在地 南日詰字箱清水128
 調査原因 L字側溝工事
 調査年月日 平成25年6月26日
 調査面積 88.2㎡（トレンチ1本）
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



平面実測図（1：800）

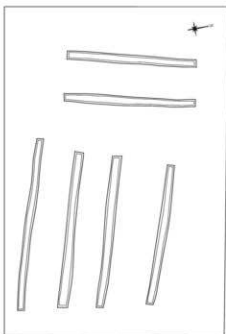
文化財保護法第94条 試掘調査位置図・平面実測図①

3) 後在所遺跡

遺跡コード LE85-0304
 所在地 片寄字堤下52
 調査原因 上水道配水池増設工事
 調査年月日 平成25年9月19日
 調査面積 168.7㎡ (トレンチ6本)
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



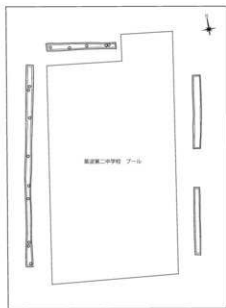
平面実測図 (1 : 600)

4) 間木沢遺跡

遺跡コード LE67-1139
 所在地 犬吠森字間木沢70
 調査原因 屋外プール建替え工事
 調査年月日 平成26年11月5日～11月6日
 調査面積 78.6㎡ (トレンチ4本)
 検出遺構 柱穴
 出土遺物 なし



調査位置図



平面実測図 (1 : 600)

写 真 图 版



調査区全景①（西から）



調査区全景②（北から）



SP-02断面 (南から)



SP-02完堀 (南から)



SP-08断面 (南から)



SP-08完堀 (南から)



SD-01溝跡 断面 (南から)



出土遺物状況 (カクラン)



出土遺物



作業風景



調査区全景①（東から）



調査区全景②（西から）



SD-01溝跡 断面①
(北から)



SD-01溝跡 断面②
(西から)



作業風景



大日堂遺跡 1 (内側)



大日堂遺跡 2 (内側)



大日堂遺跡 3 (内側)



大日堂遺跡 1 (外側)



大日堂遺跡 2 (外側)



大日堂遺跡 3 (外側)



大日堂遺跡 4 (内側)



大日堂遺跡 5 (内側)



赤沢廃寺遺跡 1 (内側)



大日堂遺跡 4 (外側)



大日堂遺跡 5 (外側)



赤沢廃寺遺跡 1 (外側)



大日堂遺跡 一括出土遺物 (カクラン)



赤沢廃寺遺跡 焔炉片



1) 日詰石田遺跡①



2) 古館橋遺跡



3) 南日詰梅田遺跡



4) 日詰石田遺跡②



5) 桜町田頭遺跡



6) 桜町上野沢遺跡



7) 南馬場遺跡①



8) 中田 I 遺跡



9) 北日詰外谷地Ⅱ遺跡



10) 日詰下丸森遺跡



11) 平沢松田遺跡



12) 南馬場遺跡②



13) 杉の上Ⅲ遺跡①



14) 杉の上Ⅲ遺跡②



15) 西田遺跡



16) 稲村Ⅱ遺跡



17) 堤下Ⅱ遺跡

第8図版 文化財保護法第93条 試掘調査状況③



1) 高水寺城（郡山城）遺跡



2) 比爪館遺跡



3) 後在所遺跡



4) 間木沢遺跡

第9図版 文化財保護法第94条 試掘調査状況

抄 録

ふりがな	ちょうないいせきはつくつちょうさほうこくしょん							
書名	町内遺跡発掘調査報告書Ⅳ							
副書名								
巻次								
シリーズ名	紫波町埋蔵文化財調査報告書2015							
シリーズ番号								
編集者名	鈴木 賢治							
編集機関	紫波町教育委員会							
所在地	岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前 二丁目3番地1							
発刊年月日	平成28年3月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
大日堂遺跡 第1次調査	岩手県紫波郡 紫波町北日詰 字東ノ坊地内	LE77-0131		39° 32' 03"	141° 09' 45"	20140714 ～ 20140718	54.9㎡	個人住宅新築工 事に伴う緊急発 掘調査
赤沢庵寺遺跡 第1次調査	岩手県紫波郡 紫波町赤沢 字田中地内	LE68-1297		39° 33' 09"	144° 14' 04"	20140825 ～ 20140829	33.2㎡	土留め及び側溝 整備工事に伴う 緊急発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
大日堂遺跡 第1次調査	集落跡		掘立柱建物跡1棟、 溝跡1条、柱穴14口	陶器・鎌・ ガラス瓶・土瓶		肥前産染付、 大塚相馬産陶器類		
	城館跡							
赤沢庵寺遺跡 第1次調査	寺院跡		溝跡1条	焜炉				
平成25～27年度町内遺跡埋蔵文化財有無確認調査								
第 93 条						第 94 条		
1) 日詰石田遺跡①	10) 日詰下丸森遺跡					1) 高水寺城(郡山城)遺跡		
2) 古館橋遺跡	11) 平沢松田遺跡					2) 比爪館遺跡		
3) 南日詰梅田遺跡	12) 南馬場遺跡②					3) 後在所遺跡		
4) 日詰石田遺跡②	13) 杉の上Ⅲ遺跡①					4) 間木沢遺跡		
5) 桜町田頭遺跡	14) 杉の上Ⅲ遺跡②							
6) 桜町上野沢遺跡	15) 西田遺跡							
7) 南馬場遺跡①	16) 稲村Ⅱ遺跡							
8) 中田Ⅰ遺跡	17) 堤下Ⅱ遺跡							
9) 北日詰外谷地Ⅱ遺跡								

町内遺跡発掘調査報告書 IV

2016年3月31日

編集・発行 紫波町教育委員会
〒028-3392 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3番地1
TEL 019-672-2111(代) FAX 019-672-1553

印刷 永代印刷株式会社
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目8-30
TEL 019-636-0011 FAX 019-636-0099
